

松下幸之助経営塾

[第十二期] 2016年2月開講 特別講師



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) ぴあ株式会社 社外取締役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。08年6月より、ぴあ株式会社社外取締役(現任)。



渡邊 幸義 (わたなべ・ゆきよし) アイエスエフネットグループ 代表

1963年、静岡県生まれ。86年、武蔵工業大学(現、東京都市大学)機械工学科を卒業。同年、日本デジタルイクイップメント株式会社(現、日本ヒューレット・パッカード)入社。株式会社エヌ・アンド・アイ・システムズ代表取締役副社長を経て、2000年、株式会社アイエスエフネットを設立し、代表取締役社長に就任。「雇用の創造」をグループの大義に標榜し、履歴書の過去にこだわらず意欲を基準に社員を採用することを実践。就労困難者への雇用にも積極的に取り組みながら利益を出し続けている。著書に、『「未来ノート」で道は開ける!』(2008年・マガジンハウス)、『社員みんながやさしくなった——障がい者が入社してくれて変わったこと』(2010年・かんき出版)、『会社は家族、社長は親』(坂本光司氏との共著、2011年・PHP研究所)、『雇用創造革命——ひきこもりも知的障がいも戦力にする執念の経営』(2012年・ダイヤモンド社)、『美点凝視の経営』(2012年・致知出版社)、『お母さん、障がいの子どもを応援しますよ。』(2013年・学研パブリッシング)、『つながる雇用を実現します! ~誰もが輝ける会社に——アイエスエフネットの限らない挑戦~』(2015年・日本評論社)などがある。



山本 梁介 (やまもと・りょうすけ) 株式会社スーパーホテル 会長

1942年、大阪生まれ。64年、慶應義塾大学経済学部を卒業し、繊維商社の蝶理株式会社に入社。25歳のとき家業を継ぐが、その後、不動産業に転身し、シングルマンションの管理・運営などを手がける。89年、株式会社スーパーホテルを設立し、会長に就任(現任)。95年、株式会社スーパーコート(老人ホーム・シングルマンションの運営・管理)を設立し、会長に就任(現任)。96年、社会福祉法人聖綾福祉会を設立し、理事長に就任(現任)。スーパーホテル第1号「スーパーホテル博多」を開業し、チェーン展開を進める。日本経営品質賞(2009年度、中小企業部門)ほか受賞多数。著書に『1泊4980円のスーパーホテルがなぜ「顧客満足度」日本一になれたのか?』(2013年・アスコム)、『5つ星のおもてなしを1泊5120円で実現するスーパーホテルの「仕組み経営」』(2014年・金井壽宏氏との共著、かんき出版)がある。



近藤 宣之 (こんどう・のぶゆき) 株式会社日本レーザー 代表取締役社長

1944年、東京生まれ。68年、慶應義塾大学工学部電気工学科卒業。日本電子株式会社入社。労働組合役員を経験後、経営管理課長、総合企画室次長等を歴任。89年、同社取締役兼米国法人総支配人、93年、国内営業担当取締役を経て、94年、子会社の株式会社日本レーザー代表取締役社長に就任。債務超過で赤字だった会社を、わずか2年で黒字転換させた。2007年には、経営陣と従業員が一体となり株式を買い取るMEBOにより日本電子本社より独立。社員のやる気を引き出す制度を導入し、2011年には第1回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞、中小企業庁長官賞を受賞、12年、第10回東京商工会議所「勇気ある経営」大賞受賞、13年、経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」等に入選、14年、経済産業省「がんばる中小企業300社」に入選するなど、経営に関する賞を立て続けに受賞。著書に、『変化する企業社会とキャリア形成』(2006年・公益財団法人富士社会教育センター)、『ビジネスマンの君に伝えたい40のこと』(2012年・あさ出版)など多数ある。



谷井 昭雄 (たにい・あきお) パナソニック株式会社 特別顧問、元社長

1928年、大阪生まれ。48年、神戸工業専門学校(現・神戸大学工学部)精密機械科を卒業。敷島紡績(現・シキボウ)、東洋金網(現・トーアミ)を経て、56年、松下電器産業(現・パナソニック)に入社。70年、録音機事業部長代理(のち、事業部長)、72年、ビデオ事業部長を経て、79年に取締役就任。その後、常務、専務、副社長を経て、86年、山下俊彦社長に代わり第4代社長に就任。93年に相談役、2003年に特別顧問に就任し現在に至る。また、公益財団法人霊山顕彰会特別顧問、特定非営利活動法人大阪府日本中国友好協会会長、日中経済貿易センター名誉会長、日本ボーイスカウト大阪連盟顧問などを務める。



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルピン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね——松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。